

分科会開催報告書

報告日 平成29年 3月 3日	報告者 小幡 友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第107回浮雲俳句会例会
開催日時 平成29年 2月 26日(日) 午前 9:30~11:30	開催場所 能見台地区センター多目的室 B
参加人数 “わ”の会会員 男12名 女5名 合計17名 欠席者 0名	

実施内容

第107回例会の出句は、兼題の①伊豆沼 ②天文(初春)と当季雑詠の4句。句会は、大川会員による添削披露及び、長島和女会員による選句の披講の後、北野主宰から天・地・人賞及び、特選5句、佳作9句の発表と夫々の句についての論評があった。

天賞句	春三日月星ひとつませ漕ぎ出せり	あきえ
地賞句	野火走る地震の裂きたる道に沿ひ	十 九
人賞句	蒼天を独り占めせし梅真白	和 女
特選句	熱爛の手元震へる春二番	三 洋
	恋猫の恋の駆引きよもすがら	重 九
	武家屋敷崩れし土塀梅白し	二 祥
	薄氷を割りて駆け出すランドセル	とも女
	下手投げ曲球多投の臥竜梅	勇 平

主宰の指導

- ① 兼題の伊豆沼は、渡り鳥のための国際的な重要な湿地としてラムサール条約の登録湿地となっている。白鳥やガン類の飛来数は、全国一で水鳥の楽園である。一度は訪れたいものである。
- ② 季語は、季節の進行に従い「初」「仲」「晩」「三」と区分されているので、留意して選ぶように。

会員選高点句

7点句	蒼天を独り占めせし梅真白	和 女
6点句	伊豆沼の羽音天突く浅き春	和 女
6点句	傷癒えぬまま春景の天守閣	十 九

次回の予定

平成29年3月26日(日) 午前9時30分~11時30分 金沢地区センター小会議室
108回例会 兼題①霞ヶ浦 ②仲春の地理 他に当季雑詠2句 披講 西村あきえ会員